



教育目標

笑顔追求（腹栄中大好き）、
日々の小さな努力で、
スクール・プライドの育成

文責 福島英士郎

1 前期中間テスト(6/17.18)の学習会を全学年で実施しました。

6/15.16.17の放課後の時間を中心に全学年でテスト勉強に取り組みました。

どの子も熱心にテスト勉強に取り組んでいました。特に3年生は教科担当の先生が個別指導に取り組みました。「先生、これ教えて下さい」「先生の説明でよくわかりました」という声を多く聞くことができました。真剣に学習する姿や熱心に教える教師の姿、楽しく勉強しあう子ども達の姿から、腹栄中学校の「よさ」を見つけることができました。昨年比で、ある教科では30点近くも点数がアップした生徒もいたそうです。答案用紙が返って来た時の笑顔が楽しみです。



生徒達からの質問や「先生、ここはどうですか?」という声が予想以上に多く、とてもうれしかったです。放課後の学習会を受ける姿も真剣でした。翌日、「昨日の晩、もう一回勉強したから自信がある」といった声も聞くことができました。「やればできる」を自らの姿勢で証明してくれたように思います。3年英語担当 片山興平先生

自主的な勉強会でしたが、ほぼ全員の3年生が参加してくれました。英語や数学の学習会では、積極的に先生に質問する子ども達がありました。国語や社会、理科では問題を解いて、一生懸命暗記する子ども達の姿がありました。すべての子ども達が真剣な表情でテスト勉強に取り組んでいました。子ども達の様子を見ていて、大変嬉しく思いました。よい結果が出ることを期待しています。3年学年主任 三浦昭弘先生

2 社会を明るくする素晴らしい意見発表会を実施しました。(6/12 金)

人権ボランティア委員会を中心に校内社明弁論大会を実施しました。1の1から松山ナオキと竹内徹晋君、1の2から菊本紀華君と藤末将泰君、2の1から代々佑斗君と佐藤美優君、2の2から黒石皓平君と西尾好乃君、3の1から成瀬一穂君、松枝七海君、3の2から高木大夢君と栢和葵君が、社会や家庭、学校生活についての思い、自他を尊重する態度の育成をめざしました。

自分の体験や思いを文章化し、自らの思いを正々堂々と話してくれました。聞いている子ども達も、静かに真剣に発表を聞いていました。



3 6月は「心のきずなを深める月間」です。本校生徒会の人権委員会を中心に「いじめを許さない学校・学級」をめざして、人権標語の紹介等を行いました。6/16(火)

腹栄中人権委員会 めあて 「いじめをしない させない 許さない」

○あなたは、誰かに助けられています。あなたは誰かを助けています。

あなたはかけがえのない存在です。 1の1 樋口美南海君

○考えよう、ふざけてやってるそのいじめ、表で笑顔、裏で涙

1の2 服部響暉君

○「大丈夫」、その一言で安心できる。強くなれる。勇気が出る。

言葉の力ってどん なものより一番強い武器だね。 2の1 佐藤愛結果君

○「心」って体のどこにもない。だから「心」ってみつけづらい、

見つけることはすばらしい。 2の2 佐々木遼太君

○肌の色や目の色で、人ってかわるものなのか

3の1 井川澄人君

○人の心は目に見えないけれど、見えないからこそ相手を気遣う心が大事

3の2 金井千尋君

4 生徒総会で生徒会の年間計画等を熱心に協議しました。(6/15 月)



よりよい腹栄中づくりのために、3年生が学校のリーダーとなり下級生をリードしてくれることを期待します。

腹栄中の生徒一人一人の人権が保障され、楽しく安心して笑顔で生活できる腹栄中づくりを真剣に考えてくれました。